パネルマウント形

■対応機種及び取付寸法一覧表

品名記号	適　用　ブ　レ　ー　カ	取付寸法（mm）					標準付属品
		A	B	C	D	H	
NA6050RJ	NBE52J・62J, NTS52J, NT62	46	65	3.5	－	96	タッピンねじ　M5×10　4本 防水用ガスケット　1枚
	NBE53J・63J, NTS53J, NT63, NE53G, NE58N・68N NE58N-GT, NE68N-GT, GE52J・53J・62J・63J, GBE58NJ・68NJ	46	65	16	25	96	
	NE52C・NE62C, NE102CA, NT32 GE52C・GE62C, GE102CA	33	51	3.5	－	96	
	NE53C・53M・63C, NE103CA, NT33, NK58N・68N NK108NA・108WNA, GE53C・63C, GE103CA GK58N・58WN・68N・68WN, GK108NA・108WNA	33	51	16	25	96	
NA6050RA	NE52A・62A, NT52A・62A	51	60	11.5	－	107	
	NE53A・63A, NE58NA・68NA, NE53GA, NT53A・63A NE58NA-GT・68NA-GT, GE52A・53A・62A・63A, GE58NA・68NA	51	60	24	25	107	
NA6200RA	NBE102J・152J・NTS102J	62	70	8	－	96	
	NBE103J・153J, NTS103J, NE103G, NE108N・158N, NE108N-GT NE158N-GT, GE102J・103J・152J・153J, GBE108NJ・158NJ	62	70	23	30	96	
	NE102A・152A, NT102A	62	70	8	－	100	
	NE103A・153A, NE103GA・153GA, NE108NA・158NA, NT103A NE108NA-GT・158NA-GT, GE102A・103A・152A・153A, GE108NA・158NA	62	70	23	30	100	
	NE222・223・252・253, NT222・223, NE228NA・258NA, NE223GA NE228NA-GT・258NA-GT, GE223・253, GE228NA・258NA, GE223NA	57	69	24	35	103	

※下記ブレーカの外形は3Pサイズとなります。
GE52J・62J・102J・152J・52A・62A・102A・152A, NE222・252, NT222

外形寸法図・取付板の穴あけ寸法図

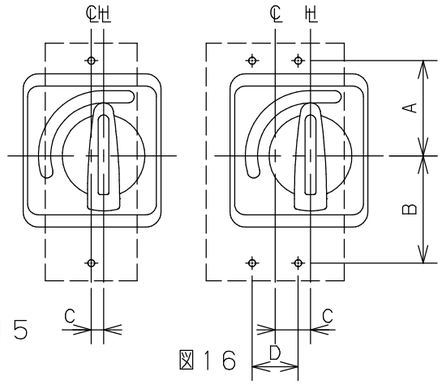

図15　図16

扉表面の穴あけ寸法図

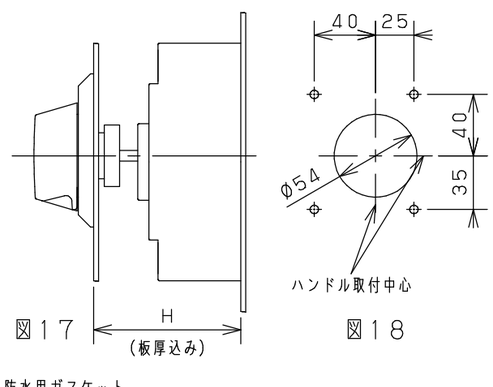

図17

図18

■取付方法

（1）扉表面穴あけ寸法図に従って、パネルに穴あけ加工をしてください。（図18）
（2）取手部を図19のように斜めにして、パネルの穴に通してください。
　　（防水用ガスケットはテープで仮止めしておくと便利です。）
（3）パネル裏側より付属のタッピンねじにより固定してください。（図20）
　　締付トルク　1.0～2.0N・m

■ハンドルの施錠方法

操作ハンドルの取手は「ON」「OFF」の位置で施錠が可能です。
キープレートを図12に示した矢印方向に引出し、市販の南京錠（又はシリンダ錠等）にて施錠してください。尚、南京錠は最大3個まで取付可能です。

■防水防塵性能

ハンドルは、防水防塵構造になっています。（IP55）

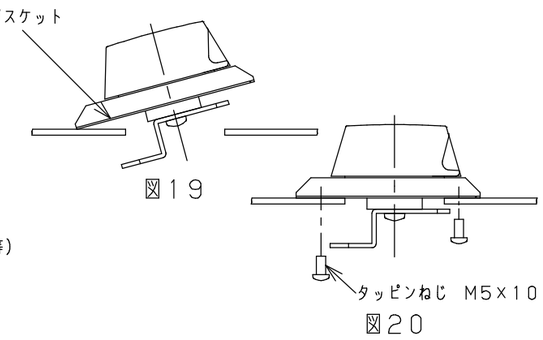

図19　図20

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2011年05月現在のものです。

日東工業株式会社

©NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地　B590105924
TEL (0561) 64-0152
http://www.nito.co.jp

外部操作ハンドル　取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。
この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

⚠危険	
接触禁止	・ハンドルON状態でリリースピンにより扉を開く場合は、感電するおそれがありますので、内部の充電部に触れないようにしてください。

⚠注意	
感電注意	・保守・点検は、専門知識を有する人が上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
注意	・ハンドルON状態で扉を開く場合は、扉ロック機構の指示通りに扉を開いてください。扉ロック金具が変形、破損します。

■施工上の注意

⚠注意	
注意	・電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。 ・ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等が遮断器内部に入らないように施工してください。動作しないおそれがあります。 ・操作ハンドルの取付けは、取付方法の指示通りに行ってください。操作ハンドルの脱落、けがの原因になります。
発火注意 感電注意	・高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
感電注意	・配線作業は、上位遮断器を「OFF」し、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。

ブレーカマウント形

■使用上の注意

⚠ 危険

接触禁止

・ハンドルON状態でリリースピンにより扉を開く場合は、感電するおそれがありますので、内部の充電部に触れないようにしてください。

⚠ 注意

注意

・ハンドルON状態で扉を開く場合は、扉ロック機構の指示通りに扉を開いてください。扉ロック金具が変形、破損します。

■対応機種及び取付寸法一覧表

品名記号	適用ブレーカ	取付寸法（mm）				標準付属品		
		A	B	C	H	操作ハンドル取付ねじ		化粧板・金具取付ねじ
NA6050J	NBE53J・63J, NTS53J, NT63, NE58N・68N, NE53G GE52J・53J・62J・63J, GBE58NJ・68NJ	7.5	25	111	105	なべ小ねじ M4×65 2本	M4 バネ座金 2個 M4 平座金 2個 M4 六角ナット 2個	化粧板 1枚 皿小ねじ M4×10 4本 固定金具（図9） 1個 止め金 （図9） 1個
NA6050A	NE53A・63A, NT53A・63A, NE58NA・68NA, NE53GA GE52A・53A・62A・63A, GE58NA・68NA	2.5	25	111	114	なべ小ねじ M4×70 2本		
NA6100J	NBE103J・153J, NTS103J, NE108N・158N, NE103G GE102J・103J・152J・153J, GBE108NJ・158NJ	4.0	30	132	105	なべ小ねじ M4×70 2本		
	NE103A・153A, NT103A, NE108NA・158NA, NE103GA・153GA GE102A・103A・152A・153A, GE108NA・158NA	4.0	30	132	111			
NA6200A	NE222・223・252・253, NT222・223, NE228NA・258NA, NE223GA NE228NA-GT・258NA-GT, GE223・253, GE228NA・258NA, GE223NA	4.5	35	126	115	なべ小ねじ M4×70 2本		

外形寸法図

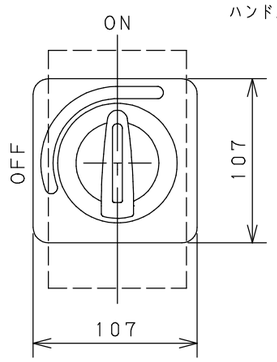

図1

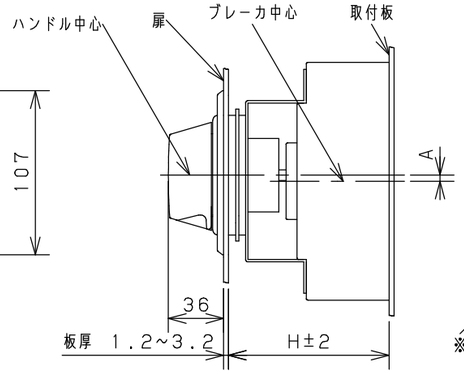

図2

取付板の穴あけ寸法図

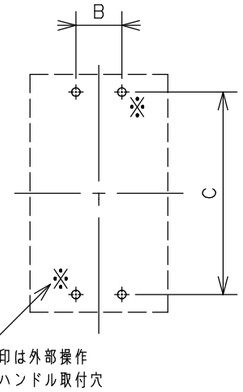

図3

扉表面の穴あけ寸法図

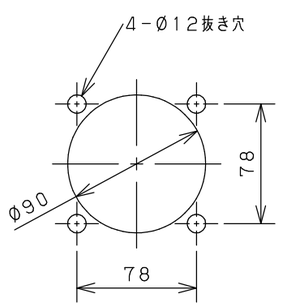

図4

扉ヒンジとブレーカの中心距離

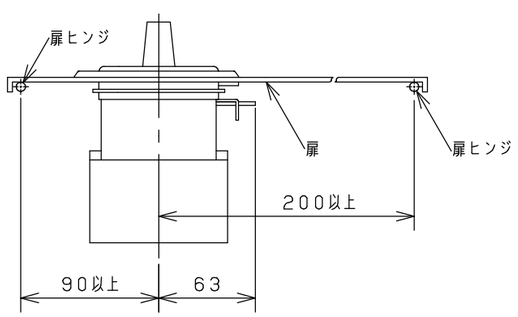

図5

■取付方法

（1）ブレーカ取付方向の確認

ブレーカに組付ける前に、操作ハンドルの方向をブレーカに合わせて調整してください。

ブレーカが図6のように上向・右向（R）・左向（L）どの方向にあってもハンドル操作方向及びON・OFF表示は同一の方向に調節できます。

工場出荷時には、上向に組立られています。ブレーカを右向（R）・左向（L）で使用する時は、次の方法で取手の方向を変更してください。

①図7に示すハンドル取手を取付けているねじを緩めて、金具と突起とのはめあいを外してください。

（この時ハンドル取手取付ねじは途中まで戻し、完全に外さないでください。）

②ハンドル取手を回転させて図7に示す箇所にてL・Rの表示に従って金具にはめ合わせ、再び取付ねじを締付けてください。

締付トルク 2.5~3.5N・m

（2）操作ハンドルの取付け

①ブレーカのカバーノックアウト穴を加工し、取付穴を4ヶ所とします。

（図3の※印の付いた位置のブレーカのノックアウトを貫通する。）

②ブレーカに付属している取付ねじでブレーカを取付けます。（図8）

③操作ハンドルの電源側・負荷側のラベルに従って方向を合わせ、ブレーカのハンドルとはめ合わせます。

この時、ブレーカのハンドルはOFFにしておいてください。

④同梱の操作ハンドル取付ねじ2本にてブレーカと操作ハンドルを取付板に共締めしてください。（図8）

締付トルク 1.1~1.7N・m

（3）化粧板及び止め金の取付け

①図4（扉表面の穴あけ寸法図）に従って扉に穴をあけてください。

②化粧板、止め金、固定金具を同梱の皿小ねじで仮止めします。

この時、固定金具をブレーカの電源側に、止め金をブレーカの負荷側に配置してください。（図9，10）

③化粧板を仮止め後、扉を閉じて外部操作ハンドルの中心と、化粧板の中心とが合っていることを確認してから、皿小ねじを本締めしてください。

中心が合っていない時は、操作ハンドルと化粧板とのすき間が均一になるようにしてから皿小ねじを本締めしてください。（図11）

締付トルク 1.0~2.0N・m

■ハンドルの施錠方法

操作ハンドルの取手は「ON」「OFF」の位置で施錠が可能です。

キープレートを図の矢印方向に引出し、市販の南京錠（又はシリンダ錠等）にて施錠してください。尚、南京錠は、最大3個まで取付可能です。（図12）

■扉インターロック機能

分電盤の扉を開いた状態でブレーカはONできません。ONしたい場合は、図13の扉ロック金具を矢印の方向に押した状態でハンドルをON操作してください。

■扉ロック機構

ブレーカがON状態では、分電盤の扉は開けられません。ブレーカがON状態で扉を開く場合は、図14のリリースピンを矢印の方向に回転させた状態で開いてください。

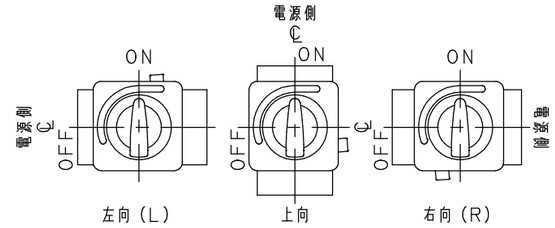

図6

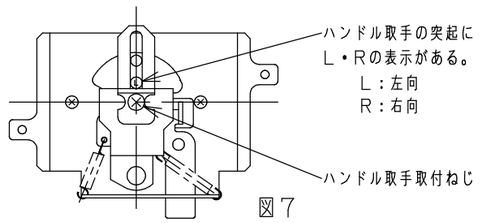

図7

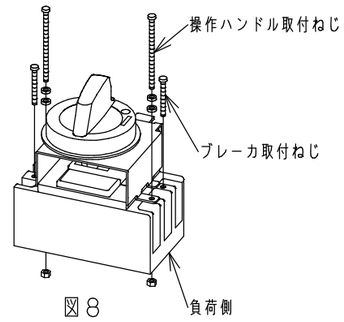

図8

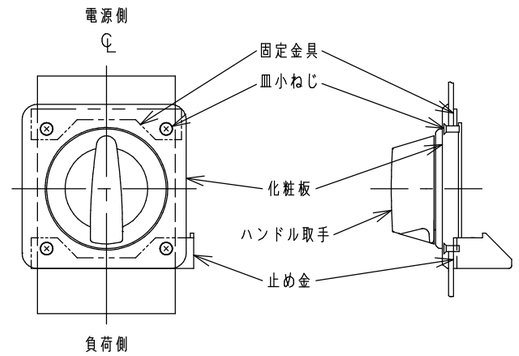

図9

図10

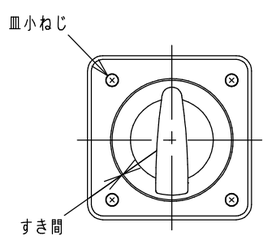

図11

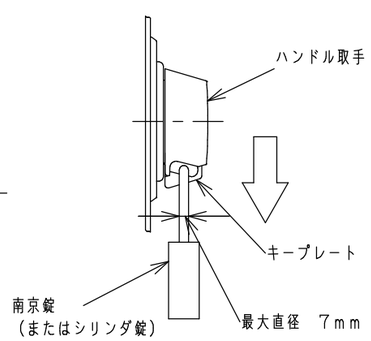

図12

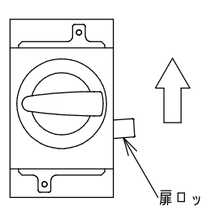

図13

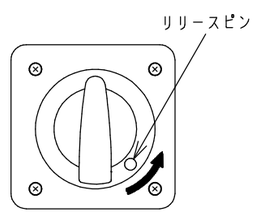

図14